

# 農業の新しい技術

No.631 (平成22年5月)  
分類コード 01 - 14  
熊本県農林水産部

## 黒毛和種種雄牛「福平波」の選抜

農業研究センター畜産研究所生産基礎技術研究室  
担当者：地内正嗣

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力間接検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

1. 肉質およびばらの厚さが優れた黒毛和種種雄牛「福平波」を選抜した。

#### 血統

父	安福165の9(黒原1683)	祖父	安福(黒育180)
母	たかひら(黒1948599)	祖母	しげふじ13の7(黒高67760)
		祖父	安平(黒高2208)
		祖母	まみ(黒原662318)

登録番号：黒13881

生年月日：平成15年1月17日

生産地：菊池市

2. 間接検定、フィールド検定および育種価

脂肪交雑(BMS)は2.6で、現有基幹種雄牛平均値よりも低いですが、フィールド検定では去勢7.0、雌5.0とH20一般肥育平均値より良好で、育種価(以下、BVとする)でも+1.59(評価種雄牛1,608頭中20位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

ロース芯面積およびばらの厚さは、ともに現有基幹種雄牛平均値より良好で、BVはロース芯面積が+16.74(評価種雄牛1,608頭中8位)、ばらの厚さが+1.06(評価種雄牛1,608頭中57位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

枝肉重量は、現有基幹種雄牛と遜色なく、BVは+63.88kg(評価種雄牛1,608頭中71位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

最近、黒毛和種繁殖農家で気高系の繁殖牛が増えている中で、但馬系である福平波は交配しやすく、今後の利用が期待される。

\* 育種価(BV)は、産子の肥育成績や血統情報等を用いて、後代が父牛の遺伝的影響でどれだけ改良されるかを予測した数値。

【具体的データ】



福平波

表1 産肉能力間接検定成績（発育成績および飼料摂取量）

月 齡	体 高	体 重	1日当	1 kg増
開始時	開始時	開始時	たり増	体当
（月）	（cm）	（kg）	り増体	量当
終了時	終了時	終了時	量（kg）	たり
				T D N
				D C P
				（kg）
9.5	120.0	351.0	0.87	6.95
21.4	137.0	667.0		0.93

表2 産肉能力間接検定成績（枝肉成績）

枝肉重量	脂肪交雑	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪の厚さ
（kg）		（cm <sup>2</sup> ）	（cm）	（cm）
360.0	2.6	47.0	6.4	1.8
(368.9)	(2.85)	(44.6)	(5.9)	(2.1)

\* 表中下段( )内の数値は現有基幹種雄牛2頭の平均値

表3 フィールド検定成績（枝肉成績）

	頭数	枝肉重量	脂肪交雑	ロース芯面積	ばらの厚さ
	（頭）	（kg）		（cm <sup>2</sup> ）	（cm）
去勢	2	513.6	7.0	61.0	8.5
	(2,440)	(461.7)	(5.0)	(52.5)	(7.4)
雌	5	465.1	5.0	59.0	8.1
	(1,057)	(429.6)	(4.6)	(52.7)	(7.3)

\* 表中下段( )内の数値はH20の一般肥育平均値

表4 フィールド成績等から推定した育種価(BV)

種雄牛名	後代牛数	枝肉重量	脂肪交雑	ロース	ばらの	皮下脂肪
			(BMS.No)	芯面積	厚さ	の厚さ
福平波	11	63.88	1.59	16.74	1.06	-0.30
順位		71	20	8	57	684
評価種雄牛数		1,608	1,608	1,608	1,608	1,608